

4年生 総合的な学習の時間 「持続かのような嘉瀬町を守ろう！」

総合的な学習の時間では、SDGs⑪「すてきな嘉瀬のまちにしよう」の目標達成を目指して学習を進めてきました。嘉瀬町のよいところを発信することで、「嘉瀬町ってすてきだな」「嘉瀬町に行ってみよう!」「嘉瀬町に住んでみたい!」と思ってくれる人が増えることを子どもたちは願っています!

11 住み続けられるまちづくりを



情報集め…嘉瀬町のよいところについて、地域の方々にインタビューをしました。



情報の整理・分析…地域の方からお聞きしたことを整理し、発信する情報をまとめました。



情報の発信

8グループの「嘉瀬町のよいところしょうかい」をぜひ、ご覧ください!

こども食堂

始めに・・・

私たちが、住んでいる嘉瀬町では、閉業されたカフェミモザで月一回こども食堂が行われています。そこには、美味しい食べ物があり、こどもは無料で食べることができます。吉村さんからこども食堂のことを教えていただきました。子ども食堂の取り組みは、SDGs 1番（貧困をなくそう）に関係していると思いました。



こども食堂にみんなおいで

こども食堂を開いてくださっている方々は、どのような思いで活動されているのでしょうか？

それは、「たくさんの方がきてくれたらうれしい！」という思いをもって活動されているそうです。みんながこども食堂でごはんを食べて、笑顔になってくれたら、吉村さんもうれしい気持ちになるとおっしゃっていました。



こども食堂の特ちょう

今までに、こども食堂は何回開かれていたのでしょうか？

実は、こども食堂は46回以上開かれているそうです。食材を、どこで集めているのかというと、フードバンクというところから食材を集めているそうです。

こども食堂は、一か月間の、最後の週の水曜日に開かれています。



お手伝いをお願いします

こども食堂のほとんどのスタッフの方々は、年をとっており、あまり体がうごかないそうです。お仕事が休みの日にも、若い人に手つだいに来てほしいそうです。

ぼくも手つだいに行くので、ぜひみなさんも手伝いに来てください。

まとめ

みなさんこども食堂のことを知って、どう思いましたか？わたしたちは、こども食堂に行ってみたくて思いました。こども食堂にお手伝いに行ってみたい人やおいしいものを食べてみたい人は、1度行ってみてください。

有明沿岸道路

始めに

皆さんは有明沿岸道路を知っていますか。いろいろな方々によって、沿岸道路が作られています。今回は、有明沿岸道路のよいところなどをみなさんに伝えるために、藤井さんと大井手さんにお話を聞きました。



有明沿岸道路どうして作られているの？

有明沿岸道路は、どうして作られているのでしょうか？

それは、じゅうたいをへらしたいからだそうです。例えば、急いでいる時に、スムーズに通ることができて、助かるのだそうです。これは、SDGs9「あたらしいぎじゅつで生活をよくしよう」に関係しているとおもいます。



有明沿岸道路の長さや、働いている方の人数

では、有明沿岸道路をつくるために何名の方が働かれていて、道路の長さは何キロメートルあるのでしょうか？

その答えを調べるために、有明沿岸道路で働かれている方に、インタビューしました。働かれている方は200名、有明沿岸道路は、五十五キロメートルだということがわかりました。

しかし、こんなに長い有明沿岸道路が、壊れた時に直すには、どれくらいの時間がかかるのでしょうか。なんと自然災害でこわれてしまった時は、なおすのに半日もかかるということがわかりました。



有明沿岸道路についてのお願い

有明沿岸道路についてお願いします。最近、有明沿岸道路で起きる事が増えてきています。逆走する車や、迷惑な行動をする車が、多発しています。危険なので絶対しないください。

まとめ

有明沿岸道路のよいところは伝わったでしょうか？

ぼくは、有明沿岸道路をつくられている方にインタビューしてみて、有明沿岸道路の工事に関わっていらっしゃる方はみんな「じゅうたいをへらしたい!!」という思いをもって、工事をされているということがわかりました。僕は嘉瀬町に住んでよかったなあと思いました。

みなさんも、ぜひ、工事が終わったら、通ってみてくださいね!

佐賀海苔

始めに

わたしたちがすんでいる嘉瀬町には、佐賀海苔というおいしい海苔があります。佐賀海苔を作る時には、色々な工夫がされています。

そこで今回は、佐賀海苔のみ力を伝えるために、香月さんと福田さんにお話を聞いてきました。



海苔作りをされている方の思い

香月さんと福田さんはどのような思いで働かれているのでしょうか？

それは、たくさんの方々においしい海苔を食べてもらいたいという思いだそうです。たとえば、佐賀海苔を食べて「おいしい。」と笑顔で言ってもらえたらうれしいからだそうです。これは、SDGs 14『海のゆたかさをまもろう』に關係していると思います。



なぜ、海苔は黒いのか

佐賀海苔についてインタビューをしました。海苔についてたくさんことを知ることができました。

なぜほとんどの海苔が黒いのでしょうか。香月さんと福田さんは、「海苔が黒いのはえいようがあるからで、美味しいよごなんですよ。」と教えてくださいました。他にも佐賀で海苔がとれたのは、60年以上前だということも教えていただきました。なぜ海苔がおいしいか、くわしく知ることができました。

みなさんへのお願い

最後に困っていることはないか質問してみました。そしたら、「海にゴミなどをすてる人がいるから、海苔がおいしくなくなって、売れなくなってしまう。」とおっしゃっていました。わたしは、もしこのままだと、海苔が大好きな人も、海苔を食べられなくなるかもしれないと思いました。わたしも海苔が大好きだし、海苔作りしている人も作りやすいように海にゴミをすてないようにしましょう！



まとめ

佐賀海苔のいいところは、伝わったでしょうか？

私は、香月さんと福田さんにインタビューしてみて、のり作りに関わっている人はみんな「おいしいのりを食べてもらいたい…!」という思いをもって、いろいろな活動を取りこんでいらっしやるのが分かりました。私は、かせ町に住むことができてよかったなと思いました。みなさんも佐賀のりを食べてみてくださいね。



森林公園

始めに

わたしたちの住んでいる嘉瀬町には、森林公園という公園があります。森林公園は、たくさんの方が遊びに来たり、さんぽをしたりするなど、たくさんの方に利用されています。そんな森林公園のことをもっと知るために、山口さんに森林公園のことを教えていただきました。



目的・思い

山口さんは、どんな思いをもって、働かれているのでしょうか？

それは、自然にかこまれた公園で、みんなに自然を感じてほしいという思いがあるそうです。これはSDGs15「自然を大切にしよう」に關係していると思います。



内よう

ほかの公園にはない、森林公園の持ちようは何でしょうか？

それは、せせらぎの音を聞いて心をおちつかせることができることだそうです。ほかにも森林公園には、いろいろな人が楽しめるように、遊具を増やしたり、野球場をつくらしたりしたそうです。このように森林公園では、来た人が楽しめるような様々な工夫がされているんですね。



お願い

最後に、山口さんに困っていることはないか質問しました。すると、森林公園では、ポイすてやゆうぐのおいぬかしが多くて困っていると教えていただきました。だからごみは、家にもちかえてすてましょう。



まとめ

森林公園のことはよくわかりましたか。わたしたちは森林公園の中でも知らなかったことがいっぱいありました。

森林公園は、自然がいっぱいで、あたたかい場所なので、みなさんも一度行ってみてください。

始めに

わたしたちが、住んでる嘉瀬町にはバルーンフェスタやかかしまつりというお祭りがあります。なので今回は、そんなバルーンフェスタやかかしまつりのよいところを伝えるために、前山さんとふじいさんに話を聞いてきました。



かかし祭りはなぜ始めたの？

かかしまつりはなぜ始まったんでしょうか？

それは、風が強い日にバルーンが飛ばない時も、がっかりして帰ってほしくないからだそうです。！そして、かかしで喜んで帰ってほしいからだそうです！！これは、SDGsの17に関係があると思います！

17 パートナースhipで目標を達成しよう



特徴

では、バルーンフェスタ佐賀やかかしまつりにしかない、特徴は、何でしょうか？

それは、たくさん人が集まる場所です！バルーンフェスタには、約90万人観光客が来ています。(去年の人数)バルーンフェスタには、他にも屋台や、ドーム等で、いろんな物を食べられます！

また、かかしまつりはたくさんのかかしがあり人が集まります。いろいろなすごいかかしがたくさんあって、おもしろいです。



最後にお願ひ！！

最後に、話をしてくれた前山さんと藤井さんの二人に、「困っていることはないですか?」と、質問してきました。

すると、「バルーンフェスタが始まって、違法駐車や、嘉瀬川などにゴミを捨てる人が増えています。」と言われました。だから、皆さん、違法駐車や、ポイ捨てをやめましょう！じゃないと、今ある嘉瀬町の良い所が失われてしまいます。よろしくお願いします！！



まとめ

バルーンフェスタやかかしまつりのよいところは伝わったでしょうか？

ほくは、バルーンフェスタ中にかかしまつりがあることはしりませんでした。新しいことが知れたので、またバルーンフェスタやかかしまつりに行きたいなと思いました。また、「雨風でバルーンが飛ばなくなったときでも、楽しんで帰ってほしい」という思いで、かかしまつりができたことを知って、すてきなあとと思いました。

バルーンフェスタやかかしまつりに行ったことがない人はぜひ行ってみてください。

始めに

ぼくたちが住んでいる嘉瀬町には、ボランティアで行われている「どようひろば」があります。土曜日にある、子どもたちのための「どようひろば」には、すてきなところがたくさんあります。今回は、どようひろばのよさを教えるためながのさんに話を聞かせてもらいました。



目的・思い

なぜどようひろばを、やっているのでしょうか？

それは、子どもたちから「楽しかった」と言われたら、うれしいからだそうです。たとえば子どもたちの笑顔を見たら、やってよかったなあと思うそうです。

これはSDGs 11「すみつけられるまちづくり」に関係していると思います。

11 住み続けられる
まちづくりを



内よう

どようひろばでは、どんなことをしているのでしょうか。

どようひろばは、子どもたちに向けて、遊びのき画や読み聞かせなどをボランティアでしてくれています。ボリングやポッチャ、かぜウィングなどの遊びを地域の人たちがボランティアでやってくれることもあります。

これは、SDGs11「住み続けられるまちづくり」とSDGs16「平和と公正をすべての人に」に関係していると思います。



お願ひ

最後に、ながのさんに困っていることはないか質問してきました。

「おもしろくなかったかをいわないで」と言われました。理由は子どもたちみんな楽しんでほしいからです。なので悪いことを言わないでください。



まとめ

みなさんどようひろばのことをよく知れましたか？

わたしは、「どようひろばのできる人が、できるときに、できることをして、子どものためにがんばっているんだなー！」と思いました。わたしもどようひろばの人たちみたいにとようひろばのお手伝いをしてみたいなと思いました。

どようひろばは、土曜日に、やっています。大人たちも子どもたちも学校外の人もokです!!ぜひ来てくださいね。みんな待ってますー!!!

好生館

始めに…

わたしたちが住んでいる嘉瀬町には、好生館という大きな病院があります。

好生館は、佐賀県に1つしかありません。そんな好生館の良いところを紹介するために好生館の「内藤さん」に話をうかがいました。



目的・思い

好生館の人たちは何のために働いているのでしょうか？

それは、人の命を守るために働いています。手じゆつをしたりちりょうをしたりして人の命を助けています。

これはSDGsの3番「すべての人に健康と福祉を」につながります。

3 すべての人に健康と福祉を



内よう

好生館の特ちょうは何でしょう？

好生館は、190年前のえと時代からありました。前は、水がえにあり、2013年（平成25年）に広い土地がある嘉瀬町にたてられました。しよく員が、1300人いて、かんごしは550人だそうです。そして450人まで入ることができるらしいです。

「病む人、家族、そして県みんの心によりそった最良の医りようを目指します」がき本理ねんです。

3 すべての人に健康と福祉を



お知らせ

好生館の人に話を聞くと、かん者さんが多いので、新しく好生館に三かいでのたて物をたてるそうです。



まとめ

どうでしたか？

わたしたちが好生館の話を聞いて心にのこったのがれきしのことでした。好生館はえと時代からみんなの病気を治すためにがんばっていることが分かりました。みなさんもせひ病気になったときは好生館に来てください！

嘉瀬町の農業

始めに

わたしたちのかせ町は農業がさかんで、アスパラガス、いちご、お米、たまねぎなどがおいしいです。

嘉瀬町の農業のよいところをつたえるために森ながさんとJAさんに聞いてきました。



何のために働いているの？

森永さんは何のために働いているのでしょうか。

それは、農業が楽しいからだそうです。なぜなら、育てるものを自分で決められるからです！何より作物をあげた人から「ありがとう」と言われるのは一番うれしいそうです。森永さんは感しやの言葉を聞くとてもうれしいそうです。

これは、SDGs 2番「きがをなくそう」につながっていると思います。

2 飢餓をゼロに



嘉瀬町ののうぎよう！

米作り…運動場 2 3 5 個分の広さ
大麦作り…運動場 3 5 4 個分の広さ
だいず作り…運動場 1 2 5 個分の広さ
で作られていて、嘉瀬町ののうぎようがさかんです。そして、「いちごさん」は、とてもおいしいです！アスパラの色は、緑…紫…白…3色あります。ビニールハウスがないとアスパラがさかてしまいます。

農業で大切にしているものは太陽の光と水、風です。嘉瀬町は自然がいっぱいあるので、おいしいものが育ちます。



お願い！

最後に、森永さんに困っていることはなにか質問してきました。

「今、農業をする人が少なくなってきた」と言われていました。なので、農業をやりたい方を、だいたい大募集中だそうです！農業は自分がやりたいようにできるのでとても楽しいそうです。ぜひ、農業をやりたいと思った方は、考えてみて下さい。それが「住み続けられるまちづくりを」に、つながると思います。

11 住み続けられるまちづくりを



まとめ

嘉瀬の農業でつくった食べ物や、くだものについて知ることができたでしょうか。ぼくは、嘉瀬の森ながさんにインタビューしてみて、嘉瀬は農業がさかんだと思いました。ぼくは嘉瀬のいちごを食べたことがあります。とてもおいかったです。みなさんもせひ嘉瀬のいちごや、アスパラを食べてみてください。そして、遊びにきてください！